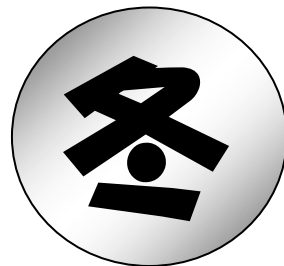


SSKU

2015年度

お元気ですか?  
イリアンソス  
です。



PAGE

**03 特集 活動センターかなえ 開所式**

PAGE

**02 理事長の散歩道⑫**

PAGE

**06 コラム きょうされん全国大会 in 兵庫**

PAGE

**07 がんばれ！イリアンソス⑱**

理事長の散歩道



理事長の散歩道 ⑫

社会福祉法人イリアンソス  
理事長 磯部光孝

久々に草むしりをしました。なかなか楽しかったです。冬なのであまり草はなかったのですが、鎌を駆使して2時間ばかり汗をかきました。草に紛れて水仙の芽が出ていて、2月でしたが春を感じることもできました。

最近、田舎でもたまに畑仕事を手伝っています。父親が少し体調を悪くしたため力仕事を請け負っています。でも難しいですね。畑の畝の土を大根の根に被せるのですが、鍬のリズムを作れないため、しまいには大根を傷つけてしまいました。

それまで、どこに畑があるのか知らなかったのですが、今では帰るたびに畑の様子を見に行くようになりました。そして、見に行くたびに、大根が成長していたり、ブロッコリーが食べごろになっていたり、小さな畑なのですが、いろいろな野菜の成長が見られて「いいなあ」と思います。  
野菜が育つ、収穫して食べるといった自然の流れと一緒に暮らすことが、人間らしい生き方の一つなのかなとこの年になってますます感じられます。

先日、きょうされんの研修で福島富岡町にいつてきました。2011年3月11日の東日本大震災では、沿岸地区を中心に壊滅的な被害を受け、東京電力福島第一原子力発電所の原子力災害発生により、全町民が避難を余儀なくされた街です。常磐線の富岡駅は跡形もなく、街全体に人影も全くありませんでした。ただ、街を巡回しているパトカーによく会いました。空き巣への警戒なのでしょう。富岡町は、2013年に警戒区域が解除され、「帰還困難区域（面積約15%・人口4800人）」と「居住制限区域（面積50%・人口9800人）」、「避難指示解除準備区域（面積約35%・1,400人）」と3区域に再編されています。しかし、富岡町災害復興計画（第二次・平成27年6月策定）では、帰還する【第1の道】・しない【第2の道】だけではなく、今は判断できない【第3の道】を作り、あらゆる町民の意向を尊重するとしています。  
こうしたニュースは、以前聞いたように思いますが、実際に富岡町に立ってみると、警戒区域が解除されたといっても、全く住民が住める状況ではなく、【第3の道】でもあまりにも永遠に遠い、さき送りの選択肢のように感じました。そんな中で、南相馬の障害福祉の事業所の職員の話で、震災関連死が福島では、震災での死者の数をはるかに上回った話を聞きました。そして以前、支援に行った時、



障害のあるなかまが、仮設住宅で母親が病気になるってしまった話を聞いたのですが、その母親も亡くなり兄もアルコール依存になり自殺し、その障害のあるなかまは、入所施設に入ってしまった話を聞かされました。  
とてもショックでした。人は自らの大地がなくなると生きていけない生きものなのではないか？それにしても、5年間の仮設住宅の生活は、あまりにも厳しすぎます。「一人ひとりの暮らしを守る」そのことをないがしろにはしてはいけません。福島のこと、日本全体に起きています。ただ、感じていないだけです。ぜひ、自分たちのこととして、福島を応援していきたいとこの地で感じました。



# 活動センターかなえ 開所式

今回の特集は 「活動センターかなえ 開所式」の様子です。

平成26年1月21日に大勢の来賓の方、また他施設のなかまも参加してにぎわいました。

とても盛大に開所式ができました。

## みんなの気持ちが集まった建物

新しくなった「活動センターかなえ」に入るときに温かい雰囲気になるのは、利用者みなさんが陶芸で作成したタイル壁のおかげです。

「のぞみの家」「なかまの家」の利用者のみなさんと作った陶芸作品が玄関の壁面のタイル

イルとなって出迎えてくれます。このタイル壁には、利用者みなさんや家族、法人関係者の思いが集まっています。

老朽化した元幼稚園の園舎を、障害のある人たちにとって安心した施設になるように知恵と力を合わせ、様々な方々にご支援していただき建て替えが実現しました。



それを祝い1月21日に建物のお披露目として開所式を行いました。東久留米市の並木市長をはじめ市議会委員お皆様も全員お越しいただきました。また、野島都

議会議員、山下都議会議員、市内の福祉施設の理事長、きょうされん役員等々もお越しいただきました。

50人の来賓の方々に祝っていただき、改めて多くの方々に応援していただいた施設であり、その建物の完成の喜びと感謝の思いが玄関のタイルには込められています。



## みんなが集う場所へ

新しい施設は、南向きで明るく温かく、障害のある方々が過ごす場所として配慮した建物になっています。

また、生活介護事業20名定員から40名定員に増やし今後数年かけて受け入れをしていきます。

ぜひ、近くにお越しの際は記までご連絡いただきお寄りくだされば幸いです。

### 【新住所】

203・0042

東京都東久留米市南沢2-20-51

電話 042・452・6405

Fax 042・452・6415



↑かなえの外観。  
開放感があり、日当たりも抜群です！

→陶芸の先生へ感謝の意を込めて花束を贈りました。  
「ありがとうございます。」



# くらん 「きょうされん 全国大会」

2015年10月、少し葉が色づき始めた頃きょうされん全国大会が兵庫県神戸市にて開かれました。入口で開場を待つ間、聞こえる関西地方の方言と陽気なお喋りに昨年度とはまた違った空気を感じていました。

今回おひさまま班の鈴木広大さんが表彰されることもあり足が地につかない気持ちで会場に入ると、コンクール入選作品がズラッと壁に飾られているのが目に入りました。その中から鈴木さんの絵を見つけると妙に感動しカメラ片手に暫くの間その場に立っていました。たくさんの人が皆とてもいい表情をしながら絵を眺めているのを見て、改めて絵の力を感じました。絵は表現であり生の証であり人と人とを繋げてくれる。鈴木さんの物語であつたあの絵が、見た人の中でまた違う物語へと変わるのだと思うとなんだか嬉しくてたくさん写真を撮っていました。

のぞみの家 多 志織  
「一緒に全国大会に参加してきました」



▲のぞみの家での創作風景



▲表彰式で賞状を受け取る鈴木さん



## 「活動センターかなえ」

なかまの家に新しいバスが来ました。」

活動センターかなえ・なかまの家で送迎等に利用していたバスが古くなり、新しいバスを買うことになりました。利用者も新しいバスがいつ来るのだろうと、ワクワクしていました。昨年の11月から新しいバスに乗っています。乗り降りしやすいようにステップの数を増やしたり、足もとがすべらないように工夫したりして活動に利用しています。このバスの購入には東京都共同募金会から配分金をいただきました。

連載 がんばれ イリアンソス! シリーズ 18

## 『がんばる 花火師のおはなし』

すぎのこハウス 佐々木 豊さん

イリアンソスの理事長は花火師です。花火師が理事長になったという方が正しい。そんなことになってしまった事情は知りたくもありませんが(いけないのか)花火師は常に花火師であってほしいと願うのは私だけではありません。

毎年八月第一土曜日は夕涼み会です。午後七時半からの花火のために花火師がどんなにがんばっているのかいなのか。お伝えできないかもしれないしできないかもしれない。そんなおはなしです。

夕涼み会当日、午前十時に参加団体のスタッフが集まります。出店のテントや机やちようちんの準備をします。時は八月、朝から猛暑。そこには、汗だくのスタッフを手伝うこともなく、ひたすら花火の準備に没頭する花火師の姿があります。おっさんですが短パン姿がなかなかのものです。(うそです) ナイアガラのリープ張りでは花火師は木登りをします。手下は花火師の指示に従って、木の下でリープを引っ張ったり緩めたりします。木登りが得意でないと花火師はつとまら

ない。ちなみに手下は花火師を「棟梁」と呼びます。呼ばせているのかもしれませんが。

打ち上げ花火の発射台を見たことがありますか?木の枠に鉄パイプを三本組込んだスグレものです。数年前、花火師は発射台を新調しました。もちろん花火師の手によるものです。大工仕事ができないと花火師はつとまらない。発射台作成中の花火師は真剣そのもの。話しかけようものなら殴られそうなオーラが全開。これぞ職人魂!

夕涼み会の一週間前になると花火師は両国方面に花火の買い出しに出かけます。浅草橋だったかな。私は花火屋さんに行ったことがないので、大きき、色、形、単発連発、日本製外国製、値段もピンからキリまで。素人ではどれを買ったらいのかわからない。みなさまのご寄付で購入金額は決まるので、どれだけいいものか買えるのかはまさに花火師の腕の見せどころです。毎年新作も買っているようです。はずれだったらいやですよ。でもはずれだったことってないんじゃないかしら。

花火師は夕涼み会の事務局会メンバーです。花火がなければ夕涼み会ではない、と誰もが

思っているのをいいことに、花火師はでかい顔をしています。(しょうがねえな) 口癖は「おれは花火師だからよお」  
花火以外の細かいことには口をはさまない。これぞ職人魂!

花火師は「社会福祉法人すぎのこ」の理事もやっています。花火師はイリアンソスの、すぎのこの、東久留米の、全国の利用者さんのためにがんばるのだ。がんばれ花火師。



### 法人行事

くるてん

『リサイクル久留店』のぞみの家 チヤレンジ班のバザーです。  
◎日程：4月21日(木) ◎場所：滝山団地センター前広場  
※雨天中止 気温によって中止・開催時間短縮の場合もあります。

### ご寄付をいただきました(2月末まで)

法人各施設にご寄付をいただいております。誠にありがとうございます。誠にありがとうございました。いただいたご寄付は法人各施設の充実や、将来構想の資金として大切に使用させていただきます。

ザ・プライス滝山店様  
本多 和秀様  
廣澤 佑子様  
藤田 祐子様

ありがとうございます。

### 編集後記

2016年が始まりました。暖冬といわれていたのに突然の雪！驚かれた方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。そんな中、去年から建て替えをおこなっていたかなえがついに開所しました。生活寮から通っている方に新しいかなえの話をお聞きすることが楽しみです。

生活寮うみ 秋元沙織

### 表紙の写真／

かなえ開所式。のぞみの家の利用者から、開所祝いを贈呈されました。

### 《 発行 》

特定非営利法人 障害者団体定期刊行物協会  
〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17  
ヴェルトゥーラ祖師谷 102号室

Tel 03-6277-9611 Fax 03-6277-9555

### 《 企画、編集 》

社会福祉法人 イリアンソス

〒203-0043 東京都東久留米市下里 2-7-18

Tel 042-473-9027 Fax 042-473-9036

### 《 編集委員会 》

磯部光孝・多田由美・廣智章・秋元沙織・橋本大介  
矢島正樹・吉田遊佑・吉田貴吉

ホームページからはカラーで  
ご覧いただけます

イリアンソス



定価 一〇〇

### 社会福祉法人イリアンソス

- のぞみの家  
東久留米市下里 2-7-18  
042-473-9027  
042-473-9036 (F)  
nozomi@iriansos.or.jp
- 活動センターかなえ  
東久留米市南沢 2-20-51  
042-452-6405  
042-452-6415 (F)  
kanae@iriansos.or.jp
- なかまの家  
東久留米市中央町 2-1-47  
042-472-7130  
042-444-3722 (F)  
nakama@iriansos.or.jp
- 生活寮「うみ」「そら」  
東久留米市下里 4-2-7  
042-476-3400 (F兼)  
sora@iriansos.or.jp
- 生活寮「にじ」「かぜ」  
東久留米市下里 5-10-10  
042-420-9943  
kaze@iriansos.or.jp
- このみ  
東久留米市幸町 3-8-23  
042-473-9667